

テーマ

秋篠川共同体

目標

地域でつなぐ子育てのW A**～「共に 学びあい 育てあい」～**

今年度の取組紹介

第3回ホタルフェスタ2014は、鶴舞小学校・鶴舞幼稚園の創立50周年記念に合わせて、6月28日鶴舞小学校で開催しました。当日の午前中は式典を鶴舞小学校体育館で行い、午後から鶴舞幼稚園園庭でホタルフェスタを開催。地域の子どもたちによるダンス発表も加わり、参加者500名以上の方々にお祝いをおこなって楽しんでいただきました。



今年度から、新たに“あい花菜事業”を取り入れました。幼稚園・小学校・中学校においてそれぞれ園児や児童・生徒の皆さんが、種まきから、水やり、植え替えを地域の方々に教わりながら花を育てました。学校内を飾るのはもちろんのこと、地域の老人ホームにももらって戴きました。またホタルフェスタで地域の方に販売もしました。栽培中は、ナメクジにやられたり、水不足で枯らしたりと栽培の難しさを感じながらも、子どもたちは地域の方から色々なことを学んでいました。



今年度のまとめ

今年度、ホタルフェスタを鶴舞小学校で開催したことは、普段来校することのない同じ地区内の平城西小学校区の地域の方々が、鶴舞小学校を訪れる機会となり中学校以外で開催したことは良かったと思われまます。

また、昨年度の反省による「子どもたちの参加」という点から言えば、栽培した花を販売して参加したともいえますが、参画しているとは言い難い面もあり、大人も子どもも参画して楽しみ、地域の繋がりを感じ取ってもらうかたちを考える必要があります。

ホタルフェスタ、あい花菜事業に限らず、子どもたちの参画を目指すには、学校行事との兼ね合いもあるので学校との話し合いを年度始めにする必要があると思ひます。

来年度に向けて

小中一貫教育導入の点から、中学校区という地域が一体になり支援していくことが不可欠で、中学校・小学校区の教職員・子どもたち・地域住民が1つのことをお任せでなく参画していく形を早期に実現していきたいと思ひます。

テーマ

学び合い・主体的に生きていく生徒の育成

目標

計画的な研修により、授業改善を行うと共に、諸行事を通して主体性を養う。また、地域の組織力を活用して多くの体験活動を行う。

今年度の取組紹介

・授業改善において、つながり、学びあえる授業づくりを目指して、県内の中学校や先進校視察を行いました。また、校内において積極的な研究授業を行い、スーパーバイザーを招いて研究協議や講演会を行い「アクティブラーニング」について共通理解を図ると共に授業力の向上に努めました。広く地域の方々にも公開し、ご批評や指導を受けました。

夏休み中のサマースクールでは地域ボランティアに学習指導を協力していただき、学力の向上を図りました。

・未来を担い自立できる人間の育成を目指し、生徒自ら考え取り組む事業を行いました。具体的な内容として、生徒会の年間スローガンの垂れ幕製作、リーダー育成のため生徒会が中心になって行うリーダー研修会、クリーン作戦や苗植えなどを実施しました。特に、プロジェクト「チューリップ」では多くのボランティアが参加し、花壇づくりや土づくりからはじめ、大いに盛り上がり、咲き誇る春に胸を膨らませていきます。

・地域教育協議会主催のホタルフェスタに協力・参加し、校区の小学校や幼稚園の児童生徒及び地域の方々との交流を深めました。



今年度のまとめ

・「協同的な学び」システムを導入して6年目になり、地域と共に先進校視察・公開授業等を推進することで、授業を丁寧に進めることができ、生徒も教員も共に成長する授業が展開されています。なかまの質や学力の向上などにつながっています。

・地域とともに生徒たちを見守り、地域の方々とともに活動することで、コミュニケーション能力が付きあいさつはもちろんのこと、さまざまな場面でどう対応するべきかの判断力と行動力がつきつつあります。

来年度に向けて

・本年度より設置した各学年1名の地域連携係の位置づけや役割を一層明確にし、地域との連携の強化を図ります。

・小中一貫教育を見据え、幼小中が連携した取り組みの展開をします。

テーマ

地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる

目標

子どもたちをはぐくみ、地域や保護者で子どもたちを温かく包み込みながら見守る活動を通して地域全体がつながっていくことを目標とする。

今年度の取組紹介

創立50周年を迎えた今年度は、地域の皆様にもたくさんのご協力を頂き、記念式典をはじめとして、50周年事業を無事に終えることができました。通年の活動も、学校の年間計画の中で、支援体制が位置付き、学校と支援者との連絡調整も円滑に行え、しっかりと連携できました。

学習支援活動では、入学まもない新一年生の下校の引率や校外学習の補助など、学校だけではできない部分を協力してもらうことにより、行事や活動を円滑に進めることができました。様々な場面で、子どもたちは地域の方々と関わりを持つことにより、学校内だけではなく、地域の中で、親しみを持って地域と関わりもったり、幼稚園・保育園との交流をしたりして地域とのつながりを深めることができました。



本校では、以前より読書指導の手助けとして、図書館整備、西部図書館への引率、お話の会といったことで、地域の皆様に支援いただけてきました。今年度は、さらに読書好きの子どもを増やし、進んで読書をしたいという思いを育てたいと、たくさんの本を購入しました。購入した本は、図書ボランティアの皆様や、お話の会の皆様に、子どもたちに読ませたい本ということで選んでいただきました。



そして、図書ボランティアの皆様が、その本を図書室に手に取りやすく並べたり、本の紹介を書いたり、教室前の廊下にポスターまで作って、本への関心を高めてくださいました。その結果、子どもたちが新しい本を手に取りうれしそうに読書する姿をたくさん目にすることができました。

また、本年度は、それぞれの学年で、総合「なら」の取組として地域のことについて新しい地域教材を作って学習を進めたのですが、昔のお話をさせていただくなど、地域の皆様にご尽力いただきました。



今年度のまとめ

地域の中における鶴舞小学校の50年の歴史を地域の皆様と共に考え、さらに昔より続くこの地域の歴史についても子どもたちと共に教師も学ぶことができました。図書館支援をはじめとして、各支援グループの皆様の活動のおかげで、子どもたちが安心して活動することができ、円滑に学習を行うことができ、読書への関心が高まるなど、子どもたちの変容も見られました。

来年度に向けて

今年度は、読書活動に力を入れてきましたが、書籍の価格は高く、十分には本を増やせたとはいえない状況です。せつかく育った子どもたちの読書への関心を一層高めるためにも来年度も引き続き読書活動の推進に力を入れていきたいと思ひます。また、昨年度に整備した冒険の森では、秋にはたくさんのお栗が採れ、子どもたちは大喜びでした。ビオトープや冒険の森は継続して子どもたちの活動の場として維持・発展させていきたいと思ひます。

テーマ

「いきいき わくわく 楽しい学校」

目標

児童の活動意欲と互いに慈しみ合う優しさの醸成**今年度の取組紹介**

本校児童は明るくて元気ですが、自分の気持ちや感情の表現が未熟で人間関係をうまく築きにくい傾向があります。そこで、芝生広場や水生生物コーナーを学校環境として整備するとともに、学校図書館の環境を整えることによって豊かな情操を育み、児童の心に慈しみ合う気持ちを培いたいと考えています。また、「本物に出会う」「本物にふれる」体験によって興味関心を高め、意欲的に課題に取り組める学習環境や学習活動を工夫し、学びがいのある楽しい学校にしたいと思っています。さらに、様々な人とのかかわりを通して、豊かな心を育む取組を計画的に位置づけ、地域のよさや温かさを実感できるような特色のある取組を目指したいと考えています。

【主な取組】

- **芸術鑑賞会**：地域教育協議会とPTAの支援により、劇団 影法師 による中国影絵劇「西遊記」を実施しました。色彩がとても鮮やかで生き生きと動き回る影絵の世界にみんなが引き込まれていきました。今回で4年目となり、本校児童だけでなく平城西幼稚園児、保護者や地域の方々と共に楽しいひと時を過ごし心に残る鑑賞会となりました。
- **平城西水族館**：昇降口前に水槽を並べて秋篠川にいる水生生物を飼育しており、子どもたちの癒しの場となっています。「ニッポンバラタナゴ」の里親は4年目となり、環境学習に取り組む4年生を中心に全校で見守り飼育しています。
- **環境の整備**：ボランティアによる各学級での本の読み聞かせも定着し読み聞かせのための図書を購入して読書環境が充実しつつあります。保護者・地域のボランティアによるブッカーシールかけや蔵書補修の活動も定着してきています。
- **出前授業**：低学年は命の学習・昔遊び・日本の伝統行事、中学年は地域・環境学習、毛筆を中心に取り組みました。5年生は地域の「秋篠川を愛し育てる会」の代表からお話を聞く等、地域のよさや人々の思いを知る大切な学習となりました。高学年ではパソコンを使った授業でパワーポイント等を活用して調べ学習のまとめに取り組みました。

**今年度のまとめ**

生活科や総合的な学習の時間で計画的に出前授業を取り入れ、命の学習や地域学習、環境学習等で「本物にふれる」機会が増え、児童の興味や関心、学習意欲を高めることができました。また、3年生の書写では、毛筆の出前授業を通して伝統文化のよさを味わう貴重な機会となっています。集中力も高まり書道に関心を持つ児童が増える等、出前授業の成果を見ることができました。

来年度に向けて

様々な学校教育活動の場面で地域ボランティアの協力を得た活動が構成されるように学習活動を計画するとともに、地域・保護者・校種間連携等に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

テーマ

みんなあつまれ つるまい なかよしっ子

目標

地域の子どもは地域でつながる

今年度の取組紹介

地域の子どもは地域でつながることを目標に、幼稚園・保育園・小学校との連携を図り、未就園児を含めた地域ふれあい活動を進めています。今年度は幼稚園創立50周年にあたりみんなでお祝いをしました。小学生と一緒に式典に参加し歌を歌ったり、風船飛ばしをしたりしました。地域の方たちと一緒にお祝いをして、楽しいひとときを過ごすことができました。

午後からはホテルフェスタに親子で参加し手作りの巾着を作ったりおやつを食べたりしました。運動会では地域の方や保護者の方に見ていただきお祝いのメッセージを出したり踊ったりすることができました。人の優しさや温かさに触れ、身近な人への親しみや信頼の気持ちが育ってきています。

ゲストティーチャーを招き園庭の花壇や畑での栽培活動に取り組みました。栽培活動では、お店ではすぐに手に入る野菜も自分達で育てると簡単に手に入らないことを知り、親子の共通の話題もできてとても楽しい経験でした。季節に合わせてたくさんの花や野菜を収穫することができました。できたものはお客様や未就園児を招き一緒に食べるすることができました。また家庭に持ち帰りみんなで食べる楽しさを味わうことができました。



今年度のまとめ

子ども達は豊かな感性が育ち、自分の思いを表出し、自己実現する力も培うことができました。今年度は特に地域の方や保護者の方と一緒に幼稚園創立50周年を迎えることができ地域に根付いた幼稚園として、いろいろな人と触れ合う体験を積み重ねることで、身近な人に親しみをもち、人とかかわる楽しさを味わい、優しさや思いやりの心が育ちました。栽培活動や環境整備を共にすることで、季節を感じ植物の生長を身近に感じたり収穫に感動し、育てる楽しさを共に味わうことができました。地域の方にも幼稚園全体が明るく、活気が感じられます。訪問することが楽しみにになります。自然環境を生かした園の取組は、幼児期の心と身体の発達に欠かせないものと評価をもらいました。楽しい幼稚園を知っていただくいい機会となりました。

来年度に向けて

幼稚園ではたくさんの友だちや地域の方と交流する機会が多くありました。近隣の幼稚園・保育園・小学校との交流は大切です。今後も積極的に推進していきたいです。各行事は自治会を通して広報することで少しずつ運動会、作品展と行事に参加していただく方が増えてきました。これからも園と地域と家庭が一体となり、地域に開かれた幼稚園として努力していきたいと思えます。

テーマ

みんなでつくろう楽しい幼稚園

目標

様々な感動体験を積み重ね、豊かな心や健やかな身体、主体的に活動に取り組もうとする意欲を育む。親子・地域がともに楽しめる幼稚園づくりをする。

今年度の取組紹介

○ 地域の様々な方との交流

体操教室 毎月1回インストラクターの先生に来ていただき実施しています。未就園児も2回参加します。1月には保育参観で成果を発表しました。ボールを使ったバランスやリズム体操など楽しく体を動かし、体力向上を目指しています。先生の明るい雰囲気の中、子どもたちは常に笑顔で体を動かす楽しさを全身で感じながら表現しています。



音楽鑑賞会 地域の方によるピアノの演奏と歌を親子で楽しみました。きれいな音色に聞き入り、知っている曲は一緒に歌いました。コップに水を入れて音階ができることを教えてもらい興味深かったです。また、お楽しみ会には地域のハンドベルサークルの方が演奏してくださり、未就園児親子と一緒に楽しみました。いろいろな種類の楽器に触れることができました。

○ 感動体験の積み重ね

親子で野菜の栽培 地域の方に教えていただいて四季折々の野菜を親子で育てています。水やりや草抜きなどの世話も親子でしました。特に種から育てた大根は生長の様子を大切に见守り、収穫の喜びを味わい、食育につなげることもできました。



わくわく学習への参加 “ならなぎ”の方やセンターの方に教えていただきながら自然物を使った人形とびっくり箱のおもちゃをつくり、プラネタリウムを見て星や宇宙に興味を持ちました。

今年度のまとめ

- 様々な人との交流により、その温かい雰囲気や眼差し、言葉掛けなどをおして周りの人と支え合う気持ちや感謝の気持ち、人と関わる心地よさなどを感じ、思いやりの気持ちが育かれています。すすんで挨拶をしたり話しかけたりするコミュニケーション能力も育ってきました。
- 楽器や制作、プラネタリウム、体操、絵本等、園内外で経験したことを遊びの中に取り入れ、遊び方を考えたり友達と相談したりして活発に関わり、意欲的に遊ぼうとする子が増えました。
- 保育参加や親子での活動を積み重ねたことで、子どもたちの成長をその度に感じ親子の共通の会話が増えたとの感想が寄せられ、保護者の教育や実体験することへの意識が高まっています。
- 感動体験の積み重ねにより言語・体力・食育・表現・生活習慣等総合的な成長がみられました。

来年度に向けて

- 子育て支援の充実や家庭教育の向上を図るため、地域コーディネーターの方との連携を深めていくとともに、今年度の取り組みを継続して実践していきたいと思ひます。